丹波篠山

丹波総局
〒669-3308
丹波市
柏原町小南48-1
TEL
0795・72・0540
FAX
0795・72・2199
e-mail
tanba@kobe-np.co.jp

丹波篠山支局
TEL
079・552・0025

引越や宅配、輸送に関する相談苦情は
兵庫県トラック協会丹有支部内
丹有地区
輸送サービスセンターへ!
☎079(567)1188
FAX079(567)2146

きょうの天気

	篠山	柏原
午前	⑩	⑩
午後	⑩	⑩
夜	⓪	⓪
気温	20 / 8	21 / 7

あすの天気

	篠山	柏原
	30	30

○数字は降水確率
→ のち
／ 一時
// 時々

素肌乾燥(13日)
篠山 油断大敵
柏原 油断大敵
(日本気象協会関西支社)

「コメコバレー構想」着々
泉産の米粉、初完成

丹波篠山市泉を中心とする同市東部エリアを舞台に、米粉を通じて収益や雇用を生み出すことを目指す「コメコバレープロジェクト」で、栽培した米粉用の米から初めて試作用の米粉が完成した。地元の営農組合が専用品種を試験栽培し、収穫後に一部を製粉。今後は商品開発や販路開拓を進め、地域内で経済が循環する仕組みづくりにつなげる。

丹波篠山

プロジェクトは地元の企画制作会社「カンファー」が発案した。泉地区では営農組合、企業、自治会などが連携して集落営農に取り組んでいる。その地域の強みを生かし、農業を次代へつなごうと構想した。

試験栽培を担った「いずみ営農組合」は、麺などに適した米粉用の専用品種「亜細亜のかおり」を約10アールの水田で育てた。田植えはコシヒカリとほぼ同時期で、収穫はコシヒカリより1、2週間ほど遅い。想定を上回る約780キロを収穫し、品質も良好だった。収穫後の乾燥作業などは、地元農家の協力を得て行った。

採算面については、同社の中野彰夫さんによると、玄米の販売収入はコシヒカリとほぼ同水準で、経費にも大きな差はないとみている。国の支援制度による収益の上積みも見込んでいる。

収穫した玄米は京都の製粉会社へ出荷。一部を製粉し、試験販売用の米粉60キロを作った。袋詰めして販売するほか、地元の飲食店や住民にも利用を呼びかけ、商品化の可能性を探る。

地元の「里山工房くもべ」では、米粉を衣に使う唐揚げの試作や、米粉の販売を予定する。泉地区に製造拠点を置くケンミン食品も、地元産の米粉を使った麺の試作を準備している。市内のパン店などにも活用を呼びかけるという。

来年は、同営農組合と協議しながら、作付面積を約3倍に広げることを検討している。中野さんは「価値を見いだしてくれる仲間を増やしたい」と話し、地域で新たな仕事や商いが生まれることを目指す。

米粉購入の問い合わせなどは、カンファーの中野さん☎079・506・3966



泉地区で専用品種を栽培し、できあがった「いずみのこめこ」=丹波篠山市泉

今後は商品開発へ

「加古川線もっと乗ろうやない会」
愛好家が魅力を解説
丹波・山南 利用促進へ講演会

JR加古川線西脇市―谷川間の利用促進を図る「JR加古川線もっと乗ろうやない会」が、丹波市山南町谷川の山南住民センターで開かれた。沿線住民や県、市の関係者ら約100人が参加し、加古川線を愛好する江村識子(のりこ)さん(49)＝加古川市＝が沿線の魅力について講演した。

沿線の三つの地域運営組織でつくる「維持・利用促進地域協議会」が昨年から開いている。藤原悟会長が乗車促進を目指した活動などを報告。県交通政策課の福永悦男課長は、地域や自治体の取り組みで利用増の傾向が続いているとして「この勢いを継続していきたい」と呼びかけた。

江村さんは「さぁ!加古川線を楽しもう!」と題して講演。沿線で撮りためた写真をスクリーンに映し、列車と桜や駅舎、鉄橋などを組み合わせた風景を紹介した。

続いて、自身が列車で訪ね、徒歩やレンタサイクルで美術館や神社仏閣、飲食店、山を巡った体験を披露。沿線の食や歴史、自然と鉄道を組み合わせた楽しみ方を伝えた。

阪神・淡路大震災直後、加古川線があったことで大学受験を無事終えられた経験も振り返り「やっぱり、つながってないと意味がないんですよ、加古川線は」と強調。加古川市など県南部も含め、沿線全体の盛り上がりに期待を寄せた。(秋山亮太)


加古川線への愛と魅力を語る江村識子さん=山南住民センター

お、みや
丹波篠山
フリーダイヤル
0120
44-0038

NEWSふぁいる

■舟城神社でクラシックコンサート　神社の境内でクラシックの名曲を楽しむ「春日街角コンサート」が、丹波市春日町長王の舟城神社で開かれた=写真(提供)。地域住民ら100人以上が訪れ、歌声やクラリネット、ピアノの音色に耳を傾けた。

「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2026」の一環。ソプラノ歌手の松原みなみさん、クラリネットの野村友輝さん、ピアノの城村奈都子さんが出演し、シューベルトの「野ばら」「アヴェ・マリア」などを披露した。

地元から柏原中学校2年の足立咲さん、足立結さんもピアノ演奏で参加。ショパンの作品や「情熱大陸」などを奏で、プロ奏者らとともにコンサートを盛り上げた。(秋山亮太)



地域の掲示板

丹波篠山市
丹波篠山市素人かるた大会　15日

10時、市民センター(黒岡)。小学生以上を対象に、初心者から経験者までクラス別で戦う。有段者は不可で、各クラス4位まで表彰する。篠山かるた会主催。無料。申し込みは当日9時半から。同会竹見さん☎090・2353・9375

丹波市
例会　18日18時、日本基督教団成松伝道所(氷上町常楽)。不登校、ひきこもりをはじめとする子育ての悩みについて相談を受ける。同会世話人代表の竹安恵さん☎090・1674・3211

秋の木市　21日9時半～14時半、丹波年輪の里(柏原町田路)。近隣の製材所で出たさまざまな樹種の端材や、DIY向けの広葉樹などを格安で販売する。11時半から木材オークションもある。小雨決行。丹波年輪の里☎0795・73・0725

おくやみ　(敬称略)

(12日まで届け出分)
【丹波】柏原町柏原、千種惠津(68)▽氷上町市辺、籔野みち子(75)▽春日町野村、荻野みさ子(92)

残価設定ローンで車を購入された方、お車、買い取ります!
詳しくはこちらまで
篠山オートセンター
☎0120-338-196
丹波篠山市東吹830 HPはこちらから

丹波市・北田井地区の住民団体
「防災マップ」を更新
土石流の想定範囲など掲載

丹波市氷上町賀茂の北田井地区で活動する「北田井自主防災会」は、住民間で共有する防災マップを6年ぶりに更新した。同会メンバーの住民らが地区の全54世帯を15日に訪れ、各戸に配布する。

同地区では2014年の丹波豪雨で床上浸水や道路の寸断が発生した。同会は、住民の自助や共助の意識を高めようと18年から活動している。

マップはA3判で2枚一組。住宅地図をベースに、消火栓や防火水槽、自動体外式除細動器(AED)の位置を示した。また、市防災マップを参考に、土石流が想定される範囲と急傾斜地も掲載。気象庁が5月から運用している防災気象情報や、非常時の持ち出し品リストも記した。

金子智昭(あき)会長(73)は「地域の孤立、孤独を防ぐためには互いに声をかけ合うことが重要。その入り口に防災マップを活用したい」と話している。(千葉翔大)



6年ぶりに更新した防災マップ=北田井公民館

苗豆
たねと
丹波黒大
小田垣種苗店
丹波篠山市立町　TEL(552)2369(代)

食料品市況

丹波市立卸売市場調べ
12日　(キロ当たり円)

【青果】			
シイタケ	1ダン	230	
キャベツ		240	
葱		1300	150
ホウレン草		1100	300
キュウリ		800	750
白菜根		140	500
大根		240	70
小松菜		800	
タマネギ		175	
ジャガイモ		240	
人参		250	
チンゲン菜		690	
白ネギ		720	
カボチャ		730	
サツマイモ		400	
小豆		600	
【鮮魚】		500	
マグロ		2300	
ハマチ		7500	
タイ		2200	
アジ		1800	1500
サバ		1150	750
イワシ		1250	600
ブリ		450	
福知山地方卸売市場調べ		1900	1650
【野菜】			
青ネギ		540	270
ホウレン草	200グラム	140	81
小松菜	〃	119	54
長大根		230	108
カブラ		297	
菜豆		554	
ギンナン		270	
【果実】			
新興梨	10キロ	2592	